

これから iPhone を利用したい方へ（テキスト）

2021 年 12 月 5 日
姫路デジタルサポート

1 iPhone と Android の違い

スマートフォンは、基本ソフトの種類によって、Apple 社の iPhone と、Google やサムスンなど多くのメーカーが製造する Android 系とに大別できます。それぞれの特徴は次のとおりです。

(1) iPhone

- ・視覚障がい者は、読み上げ機能の VoiceOver を使って iPhone を操作しますが、VoiceOver は購入してすぐに利用することができます。
- ・障害者の多くが iPhone を使用しています。サポーターの人数も多く、Android 系よりもサポートを受けやすいと思われます。
- ・視覚支援系のアプリは iPhone だけに対応している場合が少なくありません。
- ・本体が高価です。

(2) Android

- ・最近、特定の機種 Android でも使用できるようになり、利用者も増えていると聞いています。
- ・読み上げアプリなどのセットアップには、晴眼者の助けが必要です。
- ・機種によって、使い方が異なる部分があることから、サポートを受けにくいと思われます。
- ・機種によっては安価なものもありますが、視覚障害者に使いやすいと言われる Google Pixel 6 は高価です。

(3) らくらくフォン

- ・アプリの追加ができません。

2 iPhone の機種

(1) iPhone SE2

- ・ホームボタンがあり、使いやすいことから、現在、多くの視覚障がい者がこの機種を使用しています。
- ・50,000 円程度と価格が安いです。
- ・SE2 は、新しい機能に対応していない場合があります。

(2) iPhone13, 12

- ・ホームボタンがないので、最初は使いにくいですが、慣れると支障はないと言われています。
- ・画面が大きく、100,000 円前後と高価です。

- ・最新の機能が使えます。

(3) その他

- ・VoiceOver を使って文字入力を行うことは、煩雑で難しく、時間もかかります。しかし、外部キーボードを使ったり、音声認識を使って音声入力をしたりすることで、入力の負担を軽減することができます。
- ・Siri を使って音声によって iPhone の操作（一部機能）をできる。
- ・音楽や画像を大量に使用する場合を除いて、メモリーは 64GB で十分です。
- ・iOS という基本ソフトは、機種には依存せず、同じですので、世界の人と同じ基本ソフトを使うというメリットがあります。

3 アプリ

(1) 標準アプリ

標準アプリは、iPhone に標準装備されているアプリで、基本的に VoiceOver で操作ができます。

- ・設定関係 設定、App Store
- ・時計、天気、カレンダー
- ・メール、メッセージ、Face time、電話、連絡先
- ・カメラ、写真、マップ
- ・メモ、Safari(Web ページ閲覧アプリ)

(2) サードパーティアプリ

次のアプリは、パソコンにはない機能を持っており、VoiceOver で利用できます。

□ 視覚支援アプリ

- ・文字認識 OCR アプリ、Seeing AI アプリ ：印刷された文字、写真の中の文字の認識、写真の中の人の人数
- ・コードの読み取り UniVoice Blind アプリ：Uni Code という音声コードを認識
NaviLens アプリ：15m 離れても検出できる特殊なマーカーを認識
- ・モノの認識 これなにメモ
- ・読んでもらう Be My Eyes アプリ：ボランティアに接続して読んでもらう。

□ 歩行支援アプリ

- ・定位支援 BlindSquare アプリ：目的地までの距離と方位や、近くにある施設を知らせてくれる。
- ・移動支援 Apple, Google マップアプリ：交差点の手前で曲がる方向等を知らせてくれる。

ナビレコアプリ、Navilens アプリ：目的地までの案内に紐付けされたマーカーを検出する。

□ eHome 関係

- ・ネイチャー システム：スマートスピーカーと連携して、エアコン、テレビなどの家電の操作を iPhone で行う。

□ その他

- ・ キャッシュレス、Apple ID, PayPay など
 - 電子マネーリーダー：電子マネーの情報を読み上げてくれる。
 - ヘルスケア

上記以外のアプリでは、VoiceOver が全然使えない、または、一部使えないものも少なくありません。

4 VoiceOver とジェスチャー

視覚障がい者が iPhone を操作する場合、VoiceOver というソフトを使って画面の情報を読み上げます。それに応じて、画面をタップ、ダブルタップなどのジェスチャーを指で行なって操作を行います。

ジェスチャーの種類は、使用する指の本数と、タップ、スワイプ、ダブルタップ、トリプルタップなど指動作の種類を組み合わせた数だけあります。1本から4本までの指を使用するので、ジェスチャーの種類は多く、それらの機能を学習し、練習する必要があります。

姫路デジタルサポートでは、定期的に iPhone 講習会、相談会・個別サポートを開催しています。これから iPhone を使ってみたいと思われる方には、相談会・個別サポートでジェスチャーや文字入力など基本操作の練習ができます。また、貸し出し用の iPhone も準備しています。

5 携帯ショップさんへのお願い

iPhone 購入時には、携帯ショップに次の2つの設定をお願いしてください。この設定によりホームボタンを素早く3回押すことで、VoiceOver のオン・オフができます。

<携帯ショップさんをお願いしたいこと>

- ・「設定」->「アクセシビリティ」->「ショートカット」:「VoiceOver」をチェックし、選択中
- ・「コントロールセンター」->「画面の向きをロック」をオン